

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	イヤートレーニング2(ヴォーカルA(3)(4))		担当教員名	坂元 佳子
単位数	60	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	Bスタジオ
授業の到達目標	歌う事は身体全体が楽器となるため 柔軟な体を作り良い姿勢・呼吸・共鳴を習得し楽曲に適した表現力を身につける			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 柔軟な身体作り(足裏 みぞおち 肩甲骨 股関節 舌)の後 学生が準備 練習してきた楽曲に対し アドバイス 修正を行う			
【実務経験】1992年ダンス科設置より本校にて指導				
回数	授業形態	内容		
1	演習	脊柱の構造を理解しバランスのとれた姿勢をひとりずつチェックする		
2	演習	柔軟な身体作りの後各自持ち歌を通して舌の使い方口の開き方をチェックし矯正する①		
3	演習	柔軟な身体作りの後各自持ち歌を通して舌の使い方口の開き方をチェックし矯正する②		
4	演習	柔軟な身体作りの後各自持ち歌を通して音程 拍子 リズム 大きなフレーズの習得①		
5	演習	柔軟な身体作りの後各自持ち歌を通して音程 拍子 リズム 大きなフレーズの習得②		
6	演習	柔軟な身体作りの後各自持ち歌を通して曲を深く研究し豊かな表現をめざす①		
7	演習	柔軟な身体作りの後各自持ち歌を通して曲を深く研究し豊かな表現をめざす②		
8	演習	柔軟な身体作りの後各自持ち歌を通してレパートリーを広げ、より安定した技術を習得する①		
9	演習	柔軟な身体作りの後各自持ち歌を通してレパートリーを広げ、より安定した技術を習得する②		
10	演習	柔軟な身体作りの後各自試験曲の更なる理解と暗譜 総仕上げ①		
11	演習	柔軟な身体作りの後各自試験曲の更なる理解と暗譜 総仕上げ②		
12	演習	実技試験		
13	演習	実技試験		
14	演習	前期まとめ(弱い部分を個々にアドバイス)		
15	演習	前期まとめ(今後の課題・目標を明確にする)		
準備学習 時間外学習	歌唱の為の基礎訓練			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%		
教材	教科書	各自持ち歌を決めカラオケ 楽譜(2部)or歌詞を用意する		
	参考書	プリントで配布		
学生への メッセージ	授業のみでなく準備学習をしてこなければ授業が成り立たないという事を十分に理解して毎日練習して下さい			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	ヴォイストレーニング2(ヴォイストレーニングA(3)(4))		担当教員名	峯口弥生
単位数	60	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	EN431
授業の到達目標	①歌唱を通しての自己表現ができる。②ヴォーカリストとして対応できる能力を養う。③歌唱を学ぶことにより、バックダンサーや振付師としてのスキルを上げる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する歌唱に必要なトレーニング及び知識、技術を学ぶ。			
【実務経験】1993年大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業、1996年大阪音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻修了後、数々の演奏活動を経て、2001年よりヴォイストレーナーとして多くのヴォーカリストを輩出している。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業の流れを理解し、歌唱を学ぶことが自身の活動にどう繋がるのか考える		
2	演習	腹式呼吸での正しい発声を活かした歌唱法		
3	演習	リーディング(楽譜を用いて基本的な記号、音楽用語を学ぶ)		
4	演習	音程(楽譜を用いて正しい音程を理解する)		
5	演習	リズム(歌の正しいリズムを理解する。またインストゥルメンタル音源からのリズムのとりえ方を学ぶ。)		
6	演習	歌う為のフォームと筋肉について		
7	演習	口の開け方、表情筋の使い方と歌唱の関係		
8	演習	ブレスコントロール(ブレスと歌唱の関係)		
9	演習	滑舌(歌唱時の発音について)		
10	演習	楽曲分析(曲の背景や歌詞の意味を理解して歌う)		
11	演習	パフォーマンス(ステージを想定したパフォーマンス)		
12	演習	パフォーマンス(ステージを想定したマイクの使い方)		
13	演習	パフォーマンス(ステージを想定したパフォーマンスとマイクの使い方)		
14	演習	授業内発表の為のリハーサル		
15	演習	授業内発表		
準備学習 時間外学習	声が出やすい状態で良いパフォーマンスができるように、体をほぐしておく。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技試験 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	基本に忠実にトレーニングしながら、自分の声の魅力を知り、新たな表現に繋がっていくよう頑張りましょう。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	ステージパフォーマンス(テーマパークスタイルB(3)(4))		担当教員名	八幡谷 有希	
単位数	60	必修・選択	配当年次	2年次	
曜日・時限		選択	教室	Fスタジオ	
授業の到達目標	(1)基礎の大切さの理解と確認(2)表現したい事を見ている方に伝えられる様にする(3)プロになる為の生活改善				
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 夢を持ち現実にする為の技術、表現力、努力と自主性を身に付ける				
【実務経験】 某大手テーマパークにてダンサークラス。 ダンサー、キャラクターのオーディション振り付け					
回数	授業形態	内容			
1	演習	ダンスに必要な基礎の確認			
2	演習	エクササイズので理解して取り組んでるのかの確認を重点的に			
3	演習	クロスフロアの基礎を重点的に①(ジャンプ/ターン/バランス)			
4	演習	クロスフロアの基礎を重点的に②(ジャンプ/ターン/バランス)			
5	演習	クロスフロアの応用を重点的に①(ジャンプ/ターン/バランス)			
6	演習	クロスフロアの応用を重点的に②(ジャンプ/ターン/バランス)			
7	演習	センター振り付け(早めに覚えられる様に集中力を身に付ける)			
8	演習	振り付けの確認と振り付けでの注意点の理解			
9	演習	表現力と魅せていく踊りを自分で作っていく①			
10	演習	表現力と魅せていく踊りを自分で作っていく②			
11	演習	自分の個性を理解しダンスにつなげていく③			
12	演習	自分の個性を理解しダンスにつなげていく④			
13	演習	少人数で踊る事への慣れや楽しみを覚える			
14	演習	お互いを高め合い人の長所を見て自分に吸収していく			
15	演習	前期への復習と後期への目標を明確にする			
準備学習 時間外学習	常に見られている事を意識して生活し、美の意識も持ちファッションや化粧も研究し、 自分が綺麗に見える方法を研究してほしい。				
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技試験 100%			
教材	教科書	なし			
	参考書	なし			
学生への メッセージ	個性を生かし常に、夢の為に今、何が出来るかを考えながら、ダンスのスキルに満足する事なく夢に向かって頑張ってほしい				

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	ステージパフォーマンス(テーマパークスタイルC(3X4))		担当教員名	八幡谷 有希	
単位数	60	必修・選択	配当年次	2年次	
曜日・時限		選択	教室	Fスタジオ	
授業の到達目標	1)基礎の大切さの理解(2)筋力と体力を身に付ける(3)プロになる為に必要な事への理解				
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 筋力と体力を身に付けてケガしない身体作りと表現力と技術を最大限に発揮できる精神力を身に付ける				
【実務経験】	某大手テーマパークにてダンサークラス。 ダンサー、キャラクターのオーディション振り付け				
回数	授業形態	内容			
1	演習	身体を作る為の基礎を理解する			
2	演習	筋力トレーニングを取り入れ強い身体作り			
3	演習	柔軟性と瞬発力を重点的に			
4	演習	クロスフロア基礎を重点的に(ジャンプ/ターン/バランス)			
5	演習	クロスフロアの復習とジャンプを中心に応用への挑戦			
6	演習	グリーティングを中心にキャラクターの方向性を考える①			
7	演習	グリーティングを中心にキャラクターの方向性を考える②			
8	演習	グリーティングの動きに大きさを出していく事への取り組み方①			
9	演習	グリーティングの動きに大きさを出していく事への取り組み方②			
10	演習	お芝居を中心とした表現力を身につける			
11	演習	少人数で踊ることの慣れと技術向上①			
12	演習	少人数で踊ることの慣れと技術向上②			
13	演習	人と見合いっこしてそれぞれの長所など話し合い見る目を養う①			
14	演習	人と見合いっこしてそれぞれの長所など話し合い見る目を養う②			
15	演習	復習と目標を立てる			
準備学習 時間外学習	日常生活においても、感情豊かに綺麗なものを見たら綺麗と思った感情を感じて生活して欲しい				
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%			
教材	教科書	なし			
	参考書	なし			
学生への メッセージ	身体作りと感情を大切にし、 体力、精神力を強く、怪我をしない身体作りをしていきましょう				

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	ダンスパフォーマンス2(ジャズA(3))		担当教員名	石川 文代
単位数	30	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	Fスタジオ
授業の到達目標	踊れる身体を作っていき、表現力、テクニックの向上を目標とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ストレッチ、アイソレーション、バランス、筋トレなどを取り入れたウォーミングアップの後、 ターン、バットマン、パーツの動きなどを様々なステップと共に進めていくクロスフロアを行い、振付をし て踊ります。			
【実務経験】	シアターダンス講師として24年 舞台歴、振付家として30年以上			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ウォーミングアップから身体の隅々まで意識した動きの習得①		
2	演習	ウォーミングアップから身体の隅々まで意識した動きの習得②		
3	演習	ウォーミングアップから身体の隅々まで意識した動きの習得③		
4	演習	クロスフロアでの色々な動きの習得①		
5	演習	クロスフロアでの色々な動きの習得②		
6	演習	クロスフロアでの色々な動きの習得③		
7	演習	曲のイメージなどを感じとる。		
8	演習	身体と心の表現力を身につけていく。		
9	演習	曲のイメージなどを感じとり、身体と心の表現力を身につけていく。		
10	演習	見られる意識を持つ①		
11	演習	見られる意識を持つ②		
12	演習	見られる意識を持ち、見せ方の習得①		
13	演習	見られる意識を持ち、見せ方の習得①		
14	演習	テスト		
15	演習	まとめ		
準備学習 時間外学習	前回の授業の内容を全て復習しておく。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1. 実技試験 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	毎回、全ての授業内容を意識し、自分自身を磨き上げていく努力をして行きましょう。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	ダンスパフォーマンス2(ジャズA(4))		担当教員名	石川 文代
単位数	30	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	Cスタジオ
授業の到達目標	魅せる踊りと表現力、テクニックの向上。アピール力を身につけ、現場への対応力を養う。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ストレッチ、アイソレーション、バランス、筋トレなどを取り入れたウォーミングアップの後、 ターン、バットマン、パーツの動きなどを様々なステップと共に進めていくクロスフロアを行い、振付をし て踊ります。			
【実務経験】	シアターダンス講師として24年、舞台歴、振付家として30年以上			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ウォーミングアップから身体、筋肉の使い方。		
2	演習	ウォーミングアップから身体、呼吸への意識。		
3	演習	ウォーミングアップから身体、筋肉の使い方、呼吸への意識と共に動き、踊りに繋げていく。		
4	演習	クロスフロアでの色々な動き①		
5	演習	クロスフロアでの色々な動き②		
6	演習	クロスフロアでの色々な動き、テクニックの習得。		
7	演習	キレのある踊り方を習得。		
8	演習	ダイナミックな踊りの習得。		
9	演習	キレのある踊り方、ダイナミックな踊りの習得。		
10	演習	美しいライン、見せ方などを意識して踊る①		
11	演習	美しいライン、見せ方などを意識して踊る②		
12	演習	美しいライン、見せ方などを意識し、表現力と共に曲の世界を踊る①		
13	演習	美しいライン、見せ方などを意識し、表現力と共に曲の世界を踊る②		
14	演習	テスト		
15	演習	まとめ		
準備学習 時間外学習	前回の授業の内容を全て復習しておく。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1. 実技試験 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	授業内容は全て毎回やっていることです。常に自分を磨き、向上していけるように頑張っ て下さい。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	ダンスパフォーマンス2(ストリートA(3))		担当教員名	島谷 有香
単位数	30	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	Cスタジオ
授業の到達目標	ダンスを踊るための基礎を身につける。音楽をしっかり聴き音に合った表現の仕方を身につける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ストレッチ、筋トレ、基礎、ルーティーン			
【実務経験】JAMOSA/MINMI/青山テルマ/GENERATIONS/EXILE バックダンサー 関西コレクション KCEステージ振付				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ストレッチや基礎を重点的に習得する		
2	演習	アイソレーションの強化		
3	演習	アイソレーションの応用		
4	演習	ポージング、ウォーキングの仕方		
5	演習	身体の線の見せ方		
6	演習	表現表情の出し方		
7	演習	スローな音楽での身体の動かし方		
8	演習	アップテンポな音楽での身体の動かし方		
9	演習	ルーティーンをクリアに踊る		
10	演習	ルーティーンに自分の色を付ける		
11	演習	ルーティーン+フリーの強化		
12	演習	少人数で踊り自分の踊りを見つめなおす①		
13	演習	少人数で踊り自分の踊りを見つめなおす②		
14	演習	テスト		
15	演習	まとめ		
準備学習 時間外学習	ストレッチ・筋トレでダンスに必要な体づくりをする			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1、実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	毎週の継続性と積み重ねが大切です。いろいろな音楽を聴きストリートダンスの楽しさを知って欲しいです。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	ダンスパフォーマンス2(ストリートA(4))		担当教員名	島谷 有香
単位数	30	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	リハーサルスタジオA
授業の到達目標	ダンスを踊るための基礎を身につける。音楽をしっかり聴き音に合った表現の仕方を身につける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ストレッチ、筋トレ、基礎、ルーティーン			
【実務経験】JAMOSA/MINMI/青山テルマ/GENERATIONS/EXILE バックダンサー 関西コレクション KCEステージ振付				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ストレッチや基礎を重点的に習得する		
2	演習	アイソレーションの強化		
3	演習	アイソレーションの応用		
4	演習	ポージング、ウォーキングの仕方		
5	演習	身体の線の見せ方		
6	演習	表現表情の出し方		
7	演習	スローな音楽での身体の動かし方		
8	演習	アップテンポな音楽での身体の動かし方		
9	演習	ルーティーンをクリアに踊る		
10	演習	ルーティーンに自分の色を付ける		
11	演習	ルーティーン+フリーの強化		
12	演習	少人数で踊り自分の踊りを見つめなおす①		
13	演習	少人数で踊り自分の踊りを見つめなおす②		
14	演習	テスト		
15	演習	まとめ		
準備学習 時間外学習	ストレッチ・筋トレでダンスに必要な体づくりをする			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1、実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	毎週の継続性と積み重ねが大切です。いろいろな音楽を聴きストリートダンスの楽しさを知って欲しいです。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	アクティング2(アクティング基礎2(3)(4))		担当教員名	株式会社リコモーション(千田訓子)	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次	
曜日・時限		必修	教室	705.6教室	
授業の到達目標	<p>表現することの楽しさをしる。 アクティングベーシックで培った基礎的な発声、滑舌、身体の使い方をさらに高める。 ベーシックより、台本使用したレッスンを増やし、オーディション、また現場を想定した授業を目指す。</p>				
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 滑舌・発声などの基礎的なことから、身体の使い方、台本テキストを使用して授業をすすめる。 自分で楽しみながら、観てる人にも楽しんでもらう、客観視のできる芝居を身につけていく。</p>				
<p>【実務経験】2000～2012年「リリパットアーミーⅡ」に在籍。退団後もTV、舞台等幅広く活動。 近年の主な出演にNHK連続テレビ小説「カーネーション」、テレビ東京「湊かなえサスペンス『望郷』」、 音楽劇「大悪名～～The Badboys Last Stand!～」お嬢さん、お手上げだ・明治編」など。</p>					
回数	授業形態	内容			
1	演習	授業説明。テキストを用いたレッスン			
2	演習	自己紹介、スピーチ			
3	演習	ストレッチ、身体の使い方			
4	演習	ゲーム（同時に何かをする、考える）			
5	演習	立つ／歩く 発声／滑舌			
6	演習	エチュード（考える力、瞬発力をつける）			
7	演習	エチュード（考える力、瞬発力をつける）			
8	演習	台本を使ったレッスン。			
9	演習	台本を使ったレッスン。			
10	演習	台本を使ったレッスン。			
11	演習	台本を使ったレッスン。夏期課題説明。			
12	演習	課題発表			
13	演習	発声／滑舌。後期への課題。			
14	演習	テスト発表			
15	演習	まとめと振り返り			
準備学習 時間外学習	発声・滑舌等の基礎的な練習				
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%			
教材	教科書	特になし			
	参考書	特になし			
学生への メッセージ	<p>「アクティングベーシック」では皆さんのが思う「演劇らしい事」（演技したり、台本読んだり）はあまりせず、基礎を知るために、シアターゲームや滑舌を使った遊びを沢山していた事が2年生になると生活の色々な場面で思い出し始めると思えます。 授業では「アクティングベーシック」の基礎を踏まえ、さらに上のレベルの基礎を磨き、実際に演技にどう繋がるかと言う事を実践していきます。 演技をする時に大切な【あたりまえの日常】を体現し再現する重要性を身につけ、今後様々な現場で活躍していく事を期待しております。</p>				

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	演出・振付け(プロジェクトB(3)(4))		担当教員名	田川 雅子
単位数	60	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	リハーサルスタジオA.B
授業の到達目標	振付の正確さや自己表現。 フォーメーションのポジショニングの大切さを学び自己分析能力をつける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ○定期LIVE(月1回) ○その他外部イベント ○MV撮影 ○レコーディング ○アーティスト写真撮影 ○CD制作 ○TV出演 上記に向けての作品作り、オーディション、ボーカルトレーニングなど。 【実務経験】指導年数20年 バックダンサー、振付師、インストラクターなど。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	校長、企業様からのプロジェクト趣旨説明、オーディション。		
2	演習	課題曲チェック。振り固め。曲通しリハーサル。		
3	演習	オーディションでポジション決定。リクエストして修正する。		
4	演習	定期LIVE通し リクエスト→修正。		
5	演習	6月定期LIVEオーディション。		
6	演習	アンダー候補チェック。通し。		
7	演習	定期LIVE本番		
8	演習	7月定期LIVEオーディション。		
9	演習	アンダー候補チェック。通し。		
10	演習	振り固めやフォーメーションチェック。曲ごとチェック。		
11	演習	通し→リクエスト。		
12	演習	通し→リクエスト。		
13	演習	8月定期LIVEオーディション。		
14	演習	MV撮影		
15	演習	定期LIVE本番		
準備学習 時間外学習	現在ある楽曲の課題曲から順番に動画を見て予習。歌詞もあわせて覚える。 ボディーコントロール。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	たくさんの事をこの学校で学び 1歩でも夢に近づける授業作りができればと思います。 宜しくお願い致します。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	オーディション対策2(バレエA(3))		担当教員名	松岡優香
単位数	30	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		必修	教室	Dスタジオ
授業の到達目標	基本ステップを知り、基本姿勢身につけ、ぶれない体を作る。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ストレッチとパーレッスンにより柔軟性と体幹をトレーニングし、 センターレッスンではステップの種類を知り、重心移動の方法をつかむ。			
【実務経験】	ダンス&アクターズ専門学校の他、カルチャー教室、整骨院、幼稚園にて、 バレエ&バレエストレッチ講師として、指導歴10年に至る。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	基本姿勢と体の使い方を知る。 シャンジュマン、パッセ、エシャップ		
2	演習	前回のアンシェヌマン、パドシャ、アッサンブレ、グリッサード		
3	演習	前回のアンシェヌマン、タンジュ、ジュテ、グランバットマン		
4	演習	ピケパッセ、ピケシュス、ピケアラベスク、パドブレの種類		
5	演習	トンベパドブレ、パランセの種類		
6	演習	ピケフェット、ソテフェットなどフェットの種類		
7	演習	シソヌフェルメ前後左右、シソヌウーブレ、ジュテ		
8	演習	グランジュテ、グランパドシャ		
9	演習	アダージオでバランスを取れるようにする		
10	演習	ストウニュ、ピケターン		
11	演習	ピアテ、ピルエットアンドウオール、ピルエットアンドウダン		
12	演習	ターンを含んだステップの組み合わせ		
13	演習	ターンを含んだステップの組み合わせ		
14	演習	テスト		
15	演習	まとめ		
準備学習 時間外学習	ストレッチやマッサージ、筋肉トレーニングで体のケアをする事、授業のおさらいをする事。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技60%、課題40%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生へのメッセージ	自身が何を学びたいかをしっかり考えて授業を受けるようにしてください。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	オーディション対策2(バレエA(4))		担当教員名	松岡優香
単位数	30	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		必修・選択	教室	Cスタジオ
授業の到達目標	動きに強弱をつけ、ダイナミックな動きと、安定感を身につける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ストレッチとパーレッスンにより柔軟性と体幹をトレーニングし、 センターレッスンではステップの種類を知り、 アンシェヌマンで重心移動や見せ方の方法をつかむ。			
【実務経験】	ダンス&アクターズ専門学校の他、カルチャー教室、整骨院、幼稚園にて、 バレエ&バレエストレッチ講師として、指導歴10年に至る。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	タンジュ、アダージオ、ジュテ		
2	演習	アレグロ、グランバットマン		
3	演習	グランバットマン、スローワルツ		
4	演習	アダージオ、シャッセトンベエカルテ		
5	演習	スモールジャンプ、グランワルツ		
6	演習	タンジュ、アレグロ（方向チェンジ）		
7	演習	グランバットマン（移動）、クペジュテ		
8	演習	アダージオ（歩く）、イタリアンフェツテ		
9	演習	スローワルツ、グランフェツテ		
10	演習	グランワルツ（走る）、トンベピケターン		
11	演習	ヴァリエーション振り付け		
12	演習	ヴァリエーションおさらい①		
13	演習	ヴァリエーションおさらい②		
14	演習	テスト		
15	演習	まとめ		
準備学習 時間外学習	ストレッチやマッサージ、筋肉トレーニングで体のケアをする事、授業のおさらいをする事。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技60%、課題40%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生へのメッセージ	自身が何を学びたいかをしっかり考えて授業を受けるようにしてください。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	オーディション対策2(ジャズH(3)(4))	担当教員名	久次亜希子	
単位数	60	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	Aスタジオ
授業の到達目標	基礎の徹底、振付を覚えてから自分で考えて味わいを出す。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するストレッチと筋トレ。ウォームアップ。バーレッスン。クロスフロア。コンビネーション。			
【実務経験】	OSM、DAにて20年非常勤講師として勤務。2018年よりDA東京でも教え始める。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	アップの説明。一通りのクロスフロア。		
2	演習	立ち方について。ピルエットのプレパレーション。		
3	演習	ロールアップダウン、フラットバックについて。		
4	演習	ボールを使ってパラレルで立つ。		
5	演習	プリエについて。		
6	演習	タンデュについて。		
7	演習	体重移動①		
8	演習	体重移動②		
9	演習	クロスフロア強化。回転もの。		
10	演習	クロスフロア強化。ロンデジャンプ①		
11	演習	クロスフロア強化。ロンデジャンプ②		
12	演習	クロスフロア強化。シェネジュッテ②		
13	演習	クロスフロア強化。シェネジュッテ②		
14	演習	テスト		
15	演習	まとめ		
準備学習時間外学習	前の週にやった振りの練習等。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生へのメッセージ	自分のクセというのは立ち姿勢でさえもそれぞれあるものですが、これを直していかないとダンサーとして困ることがたくさんあります。少しずつでも直していきましょう。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	著作権(キャリア教育(3)(4))		担当教員名	照井 裕章
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	キャリア教育を通じて、著作権・社会的スキル・人間力を育成し、卒業までに、職業人として社会に貢献できる人材になる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する エンターテインメント業界にて職業人として仕事をするために必要な知識、ルールなど最後の学校として伝えなければいけないものを講義します。			
【実務経験】	ユニバーサルスタジオジャパンにてエンターティナーとして契約。ダンスインストラクター、バックダンサー、イベント出演など。2006年より大阪ダンス&アクターズ専門学校にて学科を担当。			
回数	授業形態	内容		
1	講義	ITリテラシー		
2	講義	守秘義務について		
3	講義	目標シート制作		
4	講義	ホスピタリティオリエンテーション		
5	講義	SNSリテラシー		
6	講義	税金等の納税の義務について		
7	講義	PDCAサイクル		
8	講義	契約について		
9	講義	企業研究について		
10	講義	社会人基礎力①		
11	講義	社会人基礎力②		
12	講義	社会人基礎力③		
13	講義	社会人基礎力④		
14	講義	テストと振り返り		
15	講義	まとめと振り返り		
準備学習 時間外学習	授業内で発表する課題を次週までに完成させること。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	社会に出る直前の最後の学校として伝えるべき必要なことを学んでいただきます。授業は休まないようにしましょう。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	ショービジネス(MC&ナレーション(3))		担当教員名	渡辺 希代
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	メディアセンター1
授業の到達目標	<p>・プロの声に(技術・発声・滑舌) ・人前での表現(表情・姿勢・話し方) 相互的に深めていく</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 基本、発声、滑舌、他、表現(立ち姿・表情・しぐさ他) ビデオ撮影も入れ、客観的に自分を知っていく。 授業では、司会者として、リポーターとして、実践を中心に進めていく</p>			
【実務経験】	大阪放送株式会社スポーツ班(・テレビラジオのリポーター、CMナレーションラジオ番組、司会等)			
回数	授業形態	内容		
1	演習	自己紹介(名前作文)、前期の流れ		
2	演習	発声滑舌、話す意識を変えていこう！！		
3	演習	MC実習①、陰アナ		
4	演習	MC実習②、ステージMC		
5	演習	MC実習①②、まとめ、発声滑舌チェック		
6	演習	レポート実習①		
7	演習	レポート実習②		
8	演習	レポート①②、まとめ、発声滑舌チェック		
9	演習	MC実習③		
10	演習	レポート実習③		
11	演習	レポート実習④		
12	演習	MC実習③、レポート実習③④、まとめ		
13	演習	発声滑舌チェック、振り返り		
14	演習	実技ワークショップと振り返り		
15	演習	実技ワークショップと振り返り		
準備学習 時間外学習	発声・滑舌のため、ういろう売り			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書	発声・滑舌(学校の教材)		
	参考書	アクセント辞典		
学生への メッセージ	話す事、技術以外に魅せるとは、聴かせるとは、 その為にはどうしたらいいかを一緒に探りながら、学んでいきます。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	ショービジネス(MC&ナレーション(4))		担当教員名	渡辺 希代
時間数	30	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		選択	教室	メディアセンター1
授業の到達目標	<p>・プロの声に(技術・発声・滑舌) ・人前での表現(表情・姿勢・話し方) 相互的に深めていく。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 基本、発声、滑舌、他、表現(立ち姿・表情・しぐさ他) ビデオ撮影も入れ、客観的に自分を知っていく。 授業では、司会者として、リポーターとして、実践を中心に進めていく</p>			
【実務経験】	大阪放送株式会社スポーツ班(・テレビラジオのリポーター、CMナレーションラジオ番組、司会等)			
回数	授業形態	内容		
1	演習	発声・滑舌のため、ういろう売り		
2	演習	発声滑舌、話す意識を変えていこう！！		
3	演習	MC実習①、陰アナ		
4	演習	MC実習②、ステージMC		
5	演習	MC実習①②、まとめ、発声滑舌チェック		
6	演習	レポート実習①		
7	演習	レポート実習②		
8	演習	レポート①②、まとめ、発声滑舌チェック		
9	演習	MC実習③		
10	演習	レポート実習③		
11	演習	レポート実習④		
12	演習	MC実習③、レポート実習③④、まとめ		
13	演習	発声滑舌チェック、振り返り		
14	演習	実技ワークショップと振り返り		
15	演習	実技ワークショップと振り返り		
準備学習 時間外学習	発声・滑舌のため、ういろう売り			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書	発声・滑舌(学校の教材)		
	参考書	アクセント辞典		
学生への メッセージ	話す事、技術以外に魅せるとは、聴かせるとは、 その為にはどうしたらいいかを一緒に探りながら、学んでいきます。			

ダンス&アクターズ科 昼間部 I 部

科目名	卒業制作(プロジェクトD2)		担当教員名	照井 裕章
単位数	220	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限		必修	教室	
授業の到達目標	2年間学んだ、発声、滑舌、アクティング等を活かした舞台制作。 芝居毎に異なるコンセプトを理解した上で芝居を行う。			
授業の内容	発声、滑舌等の反復から一つのテーマ、コンセプトによる芝居を作り上げていく。 その中でコミュニケーションの重要性を感じてもらい、みんなで一つの芝居を作り上げていく過程を学んでもらう。			
【実務経験】	ユニバーサルスタジオジャパンにてエンターティナーとして契約。ダンスインストラクター、バックダンサー、イベント出演など。2006年より大阪ダンス&アクターズ専門学校にて学科を担当。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトミーティング		
2	演習	各芝居リーダー顔合わせ & 課題練習		
3	演習	課題練習		
4	演習	オーディション準備		
5	演習	キャストオーディション		
6	演習	ブロックリハーサル		
7	演習	ブロックリハーサル		
8	演習	演出ミーティング		
9	演習	演出ミーティング & ブロックリハーサル		
10	演習	全体リハーサル		
11	演習	テクニカル稽古		
12	演習	通し稽古		
13	演習	現場全体リハーサル		
14	演習	本番		
15	演習	振り返り		
準備学習 時間外学習	発声や滑舌に常に意識を向ける			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	2年間の集大成となる舞台です。お客様に来てもらうことに責任とプライドを持って取り組んでください。 デビューに向けて知識と技術と人間性を高める場としていきましょう。			